

中期経営計画(平成26年度～28年度)

はじめに

当中期経営計画では、当社の経営目標である「環境変化へ対応した事業運営」「経営の自主・自立的安定運営」「経営課題に迅速に対応できる人材の育成」を基に、横浜市中央卸売市場の再編・機能強化や民営化等の課題へ取り組み、横浜市中央卸売市場の活性化、低温物流の担い手としての役割を推進していく考えでございます。

1 経営課題

当中期経営計画で対処すべき経営課題は以下の4項目を設定いたしました。

- ・市場再編・機能強化への対応
- ・事業の体質強化
- ・自主自立安定経営に向けて
- ・市有施設老朽化

2 業績目標

単位百万円

	25年度見込	26年度	27年度	28年度
売上高	1,173	1,170	1,160	1,175
営業利益	50	50	46	50
営業率 (%)	4.3	4.2	4	4.2

3 経営戦略

- ・市場再編・機能強化への対応
本場事業所は生鮮食料品主体の市場専用冷蔵庫へ、南部事業所は一般冷蔵庫へ、それぞれ転換を目指します。
- ・事業の体質強化
「事業の適正化」「品質向上」「不採算事業見直し」を行い、事業収益回復を目指します。
- ・自主自立安定経営に向けて
民営化の推進を進めるため安定株主の確保を目指します。
横浜市出資比率低減に対応した、株式制度の整備を行ないます。
教育研修については、社内経営者層の育成を進めると共に管理職、一般従業員への研修を強化します。
- ・市有施設の老朽化
本場冷蔵庫は築38年、南部冷蔵庫は築41年と老朽化が進み、横浜市へ施設改修、スクラップ&ビルドの要請を行なってまいります。

4 事業別売上目標

単位百万円

	25年度見込	26年度	27年度	28年度
冷蔵事業	935	930	925	935
凍氷事業	41	40	35	35
その他事業	197	200	200	205